

<MOT専攻 科目系統図>

ディプロマ・ポリシー

技術経営(MOT)専攻においては、理学と工学が一体となった「科学技術」と「経営」の実践的融合をはかった教育を通じて、次のような資質を持った高度専門職業人を社会に送り出すことを目的としている。

(問題発見)「理論」と「実践」の両面からイノベーションにおける課題を自ら発見し、それに係るメカニズムを把握することができる。
 (概念創造)新しい製品や事業のコンセプトを自ら創造し、イノベーションを実現していくことができる。
 (論理構築)企業経営の現場で生じているイノベーションの諸プロセスを多面的かつ立体的に分析することができる。
 (解決能力)科学・技術と市場をつなげる技術経営の実践によって、一連のイノベーションを興すことができる。

カリキュラム・ポリシー

技術経営(MOT)専攻では、技術とマネジメントを融合させ、研究開発から市場化へのプロセスにおける一連のイノベーションを興すことのできる人材を養成することを目的としたカリキュラムを編成している。

技術経営を実践できるMOT型プロデューサーを育成するための「コンセプト・フィールド・ダイナミクス教育」を実践するべく、コンセプト・プロトタイプ型教育とフィールド論理発見型教育の2本柱を有し、さらにその相互作用によってイノベーションを興すために必要な教育カリキュラムを編成している。

具体的には、コンセプトイノベーション領域、イノベーションフィールド領域、技術領域、マネジメント領域の4つの領域のカリキュラムをバランスよく編成し、かつそれぞれの領域で基幹となる科目を設けている。

さらに、理論と実践の融合を図るための演習科目群として、コンセプト・プロトタイプ型教育とフィールド論理発見型教育を実践する科目を編成し、学生一人ひとりに対して、それぞれの問題意識に基づいて研究を深められるように個別指導を行うカリキュラムを編成している。

また、技術経営(MOT)専攻の専門性を発揮しつつ、他専攻の履修を可能とすることによって、専門性と幅広い視野・知識を効率的・効果的に修得できるカリキュラムを編成している。

